



塚伴

研人傳

徳士長流

ひたれりてきえらる事一のまらき流のこころ

ありて母しりつとる具平一のこころなり、和明
宇田の善女小弁女といふるいふも母に成て
ねくゆきもつゝもよりあはれかへして中より
けつりふね波のいりふ流を成りてねくまを
しよ中ふも舞もいふるも万葉集古方集修か
物終るゝの情記いりりもいふるもいふるも
て、大坂の商人多くせりもいふるもいふるも
流り人づゝにけしきありあはれいふるもいふるも
よふもいふるもいふるもいふるもいふるも
花とらるゝいふるもいふるもいふるもいふるも

研人傳

採りし爲實久二年一檀越の清より、採りし
生玉曼葉花清より、取ししてそ花より
清より、由りしきと、いふに、勢より、丹と取
く、道より、一、豈て所、こふ、ま、あ、く、久、和、の、清
名、區より、採り、古、茶より、由り、の、陰、を、絶、念、誦、一、七、の、
宗、生、より、て、の、煉、約、こ、つ、る、ふ、り、入、我、別、志、の、り、り、を、
初、身、と、い、ひ、て、こ、ふ、
中、教、と、採、り、し、又、之、野、山、丹、和、り、り、古、清、戒、と、あ、り、
寺、杖、圓、ふ、り、も、竹、律、益、法、若、と、泉、叫、之、子、の、里
に、從、て、出、火、の、音、と、也、一、の、つ、り、こ、一、年、あ、り、こ、
藏、と、あ、り、一、自、此、宗、の、章、一、説、及、場、典、詩、文、集、
竹、ふ、り、こ、一、詩、稱、と、い、ふ、り、こ、一、の、一、從、り、由、り、入、り、
の、ま、り、一、又、此、田、川、の、例、ふ、り、一、福、く、皇、朝、の、靈、

採りし爲實久二年一檀越の清より、採りし
生玉曼葉花清より、取ししてそ花より
清より、由りしきと、いふに、勢より、丹と取
く、道より、一、豈て所、こふ、ま、あ、く、久、和、の、清
名、區より、採り、古、茶より、由り、の、陰、を、絶、念、誦、一、七、の、
宗、生、より、て、の、煉、約、こ、つ、る、ふ、り、入、
中、教、と、採、り、し、又、之、野、山、丹、和、り、り、
寺、杖、圓、ふ、り、も、竹、律、益、法、若、と、泉、叫、之、子、の、里
に、從、て、出、火、の、音、と、也、一、の、つ、り、こ、一、年、あ、り、こ、
藏、と、あ、り、一、自、此、宗、の、章、一、説、及、場、典、詩、文、集、
竹、ふ、り、こ、一、詩、稱、と、い、ふ、り、こ、一、の、一、從、り、由、り、入、り、
の、ま、り、一、又、此、田、川、の、例、ふ、り、一、福、く、皇、朝、の、靈、
採りし爲實久二年一檀越の清より、採りし
生玉曼葉花清より、取ししてそ花より
清より、由りしきと、いふに、勢より、丹と取
く、道より、一、豈て所、こふ、ま、あ、く、久、和、の、清
名、區より、採り、古、茶より、由り、の、陰、を、絶、念、誦、一、七、の、
宗、生、より、て、の、煉、約、こ、つ、る、ふ、り、入、
中、教、と、採、り、し、又、之、野、山、丹、和、り、り、
寺、杖、圓、ふ、り、も、竹、律、益、法、若、と、泉、叫、之、子、の、里
に、從、て、出、火、の、音、と、也、一、の、つ、り、こ、一、年、あ、り、こ、
藏、と、あ、り、一、自、此、宗、の、章、一、説、及、場、典、詩、文、集、
竹、ふ、り、こ、一、詩、稱、と、い、ふ、り、こ、一、の、一、從、り、由、り、入、り、
の、ま、り、一、又、此、田、川、の、例、ふ、り、一、福、く、皇、朝、の、靈、

法来し、鏡とうめ事とそん所、之振十四年正
 月微恙し、り廿四日ふ、いりて、病革る、故、之
 了、永法と告、止、能くあ、と、い、浦泉河、日、所
 介、河、事、不、名、と、喊、し、経、る、や、留、く、善、日、無、く、し、
 此、と、い、人、年、ち、ふ、し、て、美、家、あ、る、ら、う、来、日、年、ち、
 美、別、矣、さ、う、と、い、や、も、と、い、曰、心、年、ち、と、い、と、い、事、
 差、別、あり、と、美、家、の、中、心、年、等、ふ、南、の、む、傍、う、と、
 了、し、と、死、せ、と、此、一、條、第、別、是、事、は、病、中、の、
身、死、と、事、大、に、同、く、を、置、き、 亦、其、日、定、印
 跡、波、法、と、い、て、遊、す、め、年、六、十、二、庵、後、は、華、り、
 所、為、く、寛、厚、を、い、人、茶、練、結、方、う、知、り、之、を、あ、ら、ん
 と、小、部、と、い、と、説、者、あ、れ、が、は、し、と、謂、く、遊、る、所、
 あり、と、梅、辨、南、河、の、以、藏、と、い、て、も、あ、る、と、い、と、い、



始末と行く安成氏あり約実の流は所
歌子卓絶といふは其録事の一冊
多とて師と稱する所とてつよなる
まといつて師と稱する(けし)

高嶺又按は師の歌学、歌眼法格の統と稱と
して、古書と人のいふり、まはれぬ、元道
此れ人唯中川の流の流り、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、

けし、極れども算の一人といふれども、
ト、極舞の歌集、慢歌、刻は、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、

まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、

まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、
まはれぬ、まはれぬ、まはれぬ、

○京師の権に... 圓珠... 又と五斗蘭洲...
○京師の権に... 圓珠... 又と五斗蘭洲...
○京師の権に... 圓珠... 又と五斗蘭洲...

○京師の権に... 圓珠... 又と五斗蘭洲...
○京師の権に... 圓珠... 又と五斗蘭洲...
○京師の権に... 圓珠... 又と五斗蘭洲...

荷田春滿

春滿、河... 此の荷田高好...
春滿、河... 此の荷田高好...

○京師の権に... 圓珠... 又と五斗蘭洲...
○京師の権に... 圓珠... 又と五斗蘭洲...
○京師の権に... 圓珠... 又と五斗蘭洲...

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 15 lines of dense cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 15 lines of dense cursive script.

مستحقان و مستحقین را در این کتاب ذکر کرده است
و در هر یک از اینها توضیح داده است

و در هر یک از اینها توضیح داده است
و در هر یک از اینها توضیح داده است

و در هر یک از اینها توضیح داده است
و در هر یک از اینها توضیح داده است

و در هر یک از اینها توضیح داده است
و در هر یک از اینها توضیح داده است

و در هر یک از اینها توضیح داده است
و در هر یک از اینها توضیح داده است

و در هر یک از اینها توضیح داده است
و در هر یک از اینها توضیح داده است

و در هر یک از اینها توضیح داده است
و در هر یک از اینها توضیح داده است

و در هر یک از اینها توضیح داده است
و در هر یک از اینها توضیح داده است

و در هر یک از اینها توضیح داده است
و در هر یک از اینها توضیح داده است

و در هر یک از اینها توضیح داده است
و در هر یک از اینها توضیح داده است

و در هر یک از اینها توضیح داده است
و در هر یک از اینها توضیح داده است

و در هر یک از اینها توضیح داده است
و در هر یک از اینها توضیح داده است



田代三
 いづの秋之草とよ小舟舟なりてはく波よ
 碑又國字とて三洲著して墓とせり
 きの家集持ふり

桃山隱者 附も倉御門毎

いづの秋之草とよ小舟舟なりてはく波よ
 碑又國字とて三洲著して墓とせり
 きの家集持ふり
 桃山隱者 附も倉御門毎
 いづの秋之草とよ小舟舟なりてはく波よ
 碑又國字とて三洲著して墓とせり
 きの家集持ふり
 桃山隱者 附も倉御門毎

と負ひあつてと措きしは、
又一人の御中、
巡視の「連」の令敷、
のりあつて、
追ひつゝ、
解して、
乃ら、
不慮、
一、

茶店、
そ、
と、
生、
眉、
せ、
あ、
そ、

一とぞ拾ひし書生は活きしつれり
 へるまのたはば宗齋（物）のりちり
 へるてんてん

金蘭齋

金蘭齋は上の先長者として、
 ありともあまのりちりちりちり
 へるまのたはば宗齋（物）のりちり
 へるてんてん





長崎鐵人

長崎の人の某氏 去る年 酒と嗜む人よと云れり
 樽を舞ひ舞も、いせけ米穀よりか
 一的、暇を食、知者の人、食と物、
 ありて、うもま、其の思と、うぶと、
 せり、や、い、つ、の、思、と、看、る、
 せり、と、あ、の、儒、士、西、川、氏、の、記、は、
 私、拙、撰、ら、は、鐵、人、某、某、の、食、と、
 謝、せ、り、と、い、ふ、つ、の、小、さ、
 解、し、て、骨、子、曰、微、與、其、
 や、食、が、い、ま、え、る、小、は、
 其、謝

晴人外三

相するふ必む術を授てい曰相善といひし
志不善ならんは是なり相の不善も亦能志行
とて持てい又曰相を看る人亦善なり
相を好するを梯とて吾は孤相なり孤相なり必
貧なり孤なり吾て貧と安んずとて其相と
然りよ人小漢り一子新江舟といふは其の翻
す善いはやく夫れこれ獨りして食ふれを
貧しくある時不食後まゝの色に人亦ふれを
告てい曰我儂死の相あり後よけき地の延
費づつて死とさより門戸を用出と禁つて不食
取れば後世より歎む千有七也

按、その相をり人多く培養又多く其と

善く相するはけ人相よりして其行を善く
る奇特也、於蜀の巖岩平の愛下にありて
人を多くがふり、自統相なり、つひ小
飲死するは甚しけき人小病して喘入
る餘の相して漢都通る餘死のおろ
りて、終よ長公之の長命を任り、一疾も
去省と病事とゆふ、病死人衆と班
史より人多く死すといふ、世にけき死
るふれは、心れを中行するあり、其れ
死せればふりづつては善く人多く其れ

森金吾

森金吾、東の河故園小鳴戸の里人なり、弱冠より

〜たる昔のちねだお〜あけのきこぬ

太田見長

釋之庵

時傳竟一芝 佃一房

若田之長字賢之孫、伊豫大洲加藤侯の士也。嘗て
これに遇ふと、さし、東卿、小舟、入、袖、富、南、某、價と
條、す、の、日、衆、通、並、に、座、の、適、と、人、を、席、と、さ、る、不
衆、通、皆、伏、せ、人、前、に、善、悦、と、さ、ま、見、長、久、し
私、に、復、す、の、し、り、よ、く、す、後、お、水、の、候、の、善、の、官、家、の
嫁、に、入、り、小、舟、通、に、付、通、に、さ、る、養、生、の、法、と、い、ひ、
さ、く、練、も、と、し、用、に、甚、次、お、よ、脚、に、疾、に、托、一、極、と
辭、し、て、毎、に、け、及、水、く、家、長、一、糧、と、論、る、の、け、
言、不、實、不、せ、と、さ、る、自、給、す、と、い、ひ、病、客、の、よ、亮、て

医、療、に、さ、る、ま、さ、も、亦、あ、ま、く、後、に、さ、る、潔、白、の、一
事、は、茶、物、の、妙、く、扱、ふ、を、撰、く、價、と、い、ひ、
さ、く、さ、り、さ、る、さ、り、さ、く、さ、り、の、價、と、い、ひ、
は、く、都、喜、の、三、さ、り、酒、割、の、子、を、價、賣、ふ、の、
を、藏、す、の、ふ、さ、り、の、法、と、い、ひ、
つ、と、さ、り、の、さ、り、の、法、と、い、ひ、
清、深、し、書、画、雅、い、魚、裁、と、い、ひ、
つ、と、さ、り、の、法、と、い、ひ、
小、舟、の、舟、中、に、流、河、の、是、れ、高、と、い、ひ、
さ、り、の、法、と、い、ひ、
女、抱、し、る、妻、女、配、と、い、ひ、
女、抱、し、る、妻、女、配、と、い、ひ、

原門の柳家とつゞえ、秩弁岡竜の如く、嘗て
本山の幹事とありしと、病とありて、辭して返り
とき、俸同、如高ハも、全割の姓作、行の、病り
あり、兼、全割ハ、全割の、病ありしと、平生、秩
甲、此、病、其、中、一、回、年、自、小、額、の、こと、行、り、
ふ、ら、次、く、と、病、り、し、り、し、り、し、り、し、り、
ま、で、自、裁、權、し、り、し、り、し、り、し、り、
見、事、の、ふ、る、に、終、り、と、し、り、し、り、し、り、
病、て、医、療、と、し、り、し、り、し、り、し、り、
こ、の、病、り、し、り、し、り、し、り、し、り、
ふ、ら、い、し、り、し、り、し、り、し、り、
と、し、り、し、り、し、り、し、り、

う、ら、い、し、り、し、り、し、り、
遷、り、し、り、し、り、し、り、
あ、ら、い、し、り、し、り、し、り、
と、し、り、し、り、し、り、し、り、
つ、り、し、り、し、り、し、り、
の、り、し、り、し、り、し、り、
に、一、傳、と、し、り、し、り、
の、り、し、り、し、り、し、り、
と、し、り、し、り、し、り、し、り、
○原、松、門、人、ハ、原、元、細、房、と、し、り、
人、と、し、り、し、り、し、り、し、り、
と、し、り、し、り、し、り、し、り、

時、人、考、三

三、十、六

長題
 書のうけ 桂のうけ 竹のうけ 松のうけ 梅のうけ
 無好 兼 兼 兼 兼 兼
 長題
 書のうけ 桂のうけ 竹のうけ 松のうけ 梅のうけ
 無好 兼 兼 兼 兼 兼
 長題
 書のうけ 桂のうけ 竹のうけ 松のうけ 梅のうけ
 無好 兼 兼 兼 兼 兼
 長題
 書のうけ 桂のうけ 竹のうけ 松のうけ 梅のうけ
 無好 兼 兼 兼 兼 兼

長題

十一日



長題

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a cursive style and spans the width of the page. It begins with a small header on the left side.

Small vertical text on the left margin, possibly a page number or reference.

Small vertical text on the left margin, possibly a page number or reference.

Handwritten text in Arabic script, continuing from the previous page. The text is written in a cursive style and spans the width of the page. It begins with a small header on the left side.

Small vertical text on the left margin, possibly a page number or reference.

